

ごあいさつ

毎年5月の第3土曜と翌日曜に開催される「風治八幡宮川渡り神幸祭」は、約450年続く福岡県の五大祭りの1つです。

お立ちの獅子舞いの後、参道をくだり万来の拍手で迎えられた大神輿は、白鳥神社の神輿、11基の山笠と合流し川へと向かいます。大神輿を先頭に緋色の鮮やかな幟山笠(のぼりやまがさ)が彦山川を渡り、川の中で若衆が山笠を揺すり氣勢をあげ、水を掛け合うシーンは祭のクライマックスです。

田川光影会では、この祭りの姿を写真という形で後世に伝えたいと願う初代崎野会長のもと、毎年写真コンテストを開催してまいりました。50回を前に初代崎野会長は亡くなりましたが、残された会員で昨年無事50回を迎えることができました。

デジタル化により写真愛好家のすそ野は広がり、川渡り神幸祭にカメラをかかえて訪れる観光客は年々増えております。しかしながら、カメラ付き携帯電話やネットへの掲載など、写真の楽しみ方の多様化により、昔ながらの写真部はいずれも減少傾向にあります。そこで田川光影会では、各方面と協議を重ね、川渡り神幸祭を盛り上げようと活動している「まつり IN 田川実行委員会」と実行委員会を組織し、写真コンテストをリニューアルし継続することとなりました。

このたび、このように盛大に第51回目の写真コンテスト表彰式が開催できましたのは、ひとえに関係者の皆様のご支援のたまものです。川渡り神幸祭写真コンテスト実行委員会は、川渡り神幸祭を県内外に広くアピールするとともに、写真という形で後世に伝えるよう努めます。

今後も皆様のご協力・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年8月2日

川渡り神幸祭写真コンテスト実行委員会